

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社等との面談

2. 日時：令和5年1月10日（火）13：30～15：10

3. 場所：原子力規制庁 2階大会議室（オンライン参加者を含む）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 清丸検査評価室長、米林上席検査監視官、笠川室長補佐、  
沼田主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、  
伊東技術研究調査官、下崎技術研究調査官、

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループ リーダー

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 副長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価 副リーダー 他1名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

泊発電所 防災・安全対策室 主任 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 担当

三菱重工業株式会社 炉心・安全技術部 信頼性評価技術課 主席 他3名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他2名

電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 主任研究員

5. 要旨

（1）関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）は、配布資料（1）に基づき、設備の違いに基づく起因事象や人的過誤の違いなど、美浜3号機と高浜1／2号機のレベル1 PRAモデルの主な相違点について説明を行った。

（2）原子力規制庁は、関西電力が作成したレベル1 PRAモデルの適切性を確認していく上で、これらの情報を参考にするとともに、関西電力による詳細な説明を要するものについては、継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

（1）美浜3号機と高浜1／2号機のPRAモデルの相違について（関西電力資料）